



CCH Tagetik ケーススタディ

事例：味の素冷凍食品株式会社

Eat Well, Live Well.



お客様名

味の素冷凍食品株式会社

業種

- ・ 冷凍食品業界
- ・ 冷凍食品の研究開発・製造・販売

CCH® Tagetik の利用分野

- ・ 予算編成
- ・ 業績管理
- ・ 予実管理
- ・ 多段階配賦処理
- ・ クラウド環境での利用

会社概要

- ・ 冷凍食品業界のリーディングメーカー
- ・ 幅広い商品を展開
- ・ 1970年12月創業
- ・ 従業員約5,000名（2025年4月現在）

「予算策定にかかるExcel作業を約120時間削減し、損益レポートの即日化を実現。予算作成時のバージョン管理を簡素化し、入力ミスや誤削除の懸念を解消しました。CCH Tagetikでの予実管理・配賦計算の自動化により、予算策定事前準備・集計作業における業務時間を88%削減しました。」

味の素冷凍食品株式会社

マーケティング本部 事業企画部 事業グループ
藤居 紀子 様

「CCH Tagetikでは、商品別、事業部門別といった様々な観点から売上と利益率の進捗を確認できます。これにより営業・開発・製造の各部門でデータに基づく行動と意思決定が促進されています。」

味の素冷凍食品株式会社

経営企画部 経理・財務グループ マネージャー
川崎 英明 様

課題

急激な事業環境の変化に直面し、迅速な意思決定を支えるデータ基盤の構築が急務となっていた味の素冷凍食品は、会計業務において3つの課題に直面していました。

・ 年次予算策定

年次予算の策定に約3カ月を要していました。各事業部が作業を分担してExcelシートに個々の商品の販売目標数量を入力、その後生産部門で原価計算結果を入力し、固定費や物流費を反映して利益目標を決定していました。この工程には多大な時間と労力が必要でした。

・ 老朽化した月次実績管理システム

同社は20年以上同じ実績管理システムに依存していました。月次実績の集計と、主要部門への情報提供という重要な役割を担っていましたが、予算計画に対する進捗を把握するための予実管理機能の実装が困難な状況でした。

・ 組織再編

2021年の部門再編により、コンビニエンスストア、大手外食チェーンなど大口顧客を対象とする「キアアカウント事業部」が新設されたことで、配賦処理が複雑化していました。

要件

- 複雑な多段階配賦処理の自動化
- 予算策定業務の効率化
- 月次予実管理の実現
- Excel作業などの集計分析業務の大幅削減

目的

これらの課題を解決するため、味の素冷凍食品には以下の機能を持つCPM(経営管理)ソフトウェアが必要でした。

- **Excelへの依存削減:** 予算策定を自動化し、バージョン管理や入力ミスの不安解消。
- **多段階配賦処理の標準化:** 配賦計算ロジックを標準化し、予算策定業務と月次予実管理の両方にわたって配賦ルール共通化。
- **月次予実管理の実現:** 商品別、事業部門別といった複数の観点から予実管理をサポートし、データに基づいた意思決定を促進。

ソリューション

多段階配賦対応とデータ統合による業務変革

味の素冷凍食品は、CCH Tagetikの経営管理ソリューションを以下の理由で選択しました。

- ✔ **多段階配賦機能:**
CCH Tagetikは、固定費やその他の費用を異なるルールで各部門に配賦振り分けることができ、最も複雑な配賦要件に応える。
- ✔ **大容量データ処理:**
CCH Tagetikは、数千万件の明細データを効率的に処理。
- ✔ **組織変更への柔軟な対応:**
成長し進化する組織向けに設計されたCCH Tagetikは、頻繁な組織変更や事業区分の変更に対応。
- ✔ **統合プラットフォーム:**
CCH Tagetikは予算策定と月次予実管理をサポートする統合プラットフォーム。

効果と結果

年次予算策定にかかる時間を年間120時間削減

CCH Tagetik導入により、味の素冷凍食品のExcel作業時間は大幅に短縮されました。バージョン管理機能を内蔵した自動化プロセスワークフローにより、入力ミスや誤削除を防げます。

損益レポート即日化を実現

CCH Tagetikにより損益レポートの即日作成が可能になり、タイムリーかつ正確な意思決定ができるようになりました。

予実管理・配賦計算の自動化で予算集計等にかかる業務時間を88%削減

予実管理と配賦計算の自動化により、CCH Tagetikは優先度の高い分析業務のための時間を創出しました。

多角的な業績管理

味の素冷凍食品では、商品別、事業部門別など、あらゆる観点から売上や利益率の進捗を確認できるようになりました。この可視性により、営業、開発、製造部門全体でデータに基づいた行動と意思決定をサポートしています。

より多くの”考える時間”

CCH Tagetikの自動化により節約された時間で、味の素冷凍食品チームは前年比較や予算比較のより深い分析に集中し、上長や他部署により質の高いレポートを提供しています。

今後の展開

味の素冷凍食品では、新たな海外顧客セグメントへのCCH Tagetikによる自動化の拡大と、親会社へのレポートングパッケージ作成を計画しています。

CCH Tagetik の導入

今回の経営管理システム導入に際しては、CCH TagetikのソリューションパートナーであるTIS株式会社がシステムの導入を担当しました。TISはCCH Tagetikに関する豊富な知識とノウハウを有し、複雑な多段階配賦ルールの理解と実装において、緻密なプロジェクト管理と週2回の定例会議による緊密な情報共有で、滞りなくプロジェクトを進行させました。TISの熱心な業務理解とアジャイル型開発により、CCH Tagetikの標準機能のみでの対応を実現し、スケジュール遵守に大きく貢献しました。

お客様について

味の素冷凍食品株式会社は、味の素株式会社の100%出資会社として、冷凍食品の研究開発、製造、販売を事業内容とする冷凍食品業界のリーディングメーカーです。家庭用から業務用まで幅広い商品ラインナップを展開しています。



パートナー様について

TIS株式会社は、CCH Tagetikのソリューションパートナーとして、豊富な導入実績と深い製品知識を有しています。お客様の業務理解を第一に、複雑な業務要件に対してもCCH Tagetikの標準機能を最大限活用したソリューション提供を行い、確実なプロジェクト遂行を実現します。CCH Tagetikを活用した経営管理の高度化から運用・保守まで、包括的な支援を提供しています。

ウォルターズ・クルワーについて

ウォルターズ・クルワー（EURONEXT: WKL）は、医療、税務・会計、ガバナンス、リスク管理とコンプライアンス、法務・規制、経営管理・ESGの各分野における専門情報、ソフトウェアソリューションとサービスのグローバルリーダーです。深い専門知識とテクノロジー・サービスを組み合わせた専門的ソリューションを提供することで、お客様が日々重要な意思決定を行えるように支援しています。

ウォルターズ・クルワーは、2024年に59億ユーロの年間売上高を計上しました。同グループは180カ国以上の顧客にサービスを提供し、40カ国以上で事業を展開、全世界で約2万1,600人を雇用しています。本社はオランダのアルフェン・アン・デン・レインにあります。

CCH Tagetik詳細：<https://www.wolterskluwer.com/ja-jp/solutions/cch-tagetik>

LinkedIn：<https://www.linkedin.com/company/tagetik-japan>



CCH® Tagetik
by Wolters Kluwer